

平成21年10月発行

11月1日～7日は  
文化財保護強調週間

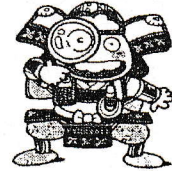
文化財愛護シンボルマーク



# ぶんかざい

# おおた

## 第12号



文化財まもるくん

大田区教育委員会では、先人が残した大切な郷土の歴史遺産である文化財の保存、学校教育での文化財活用を積極的に展開しています。

10月1日から11月30日は東京文化財ウィークです。区内でも記念の事業が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

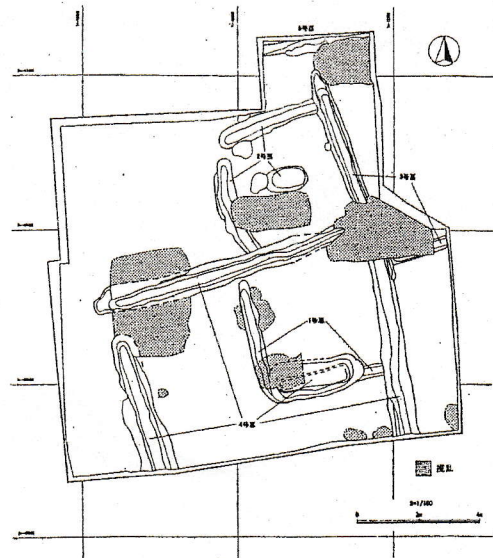
### 「久ヶ原遺跡 嶺遺跡 山王遺跡 新井里横穴墓群 発掘調査報告書」

(大田区の埋蔵文化財第19集)を刊行しました!

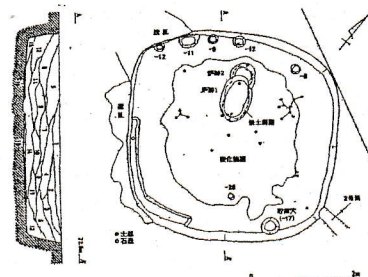
現在、大田区には234カ所の遺跡が登録されています。これらの遺跡の多くは工事等で破壊されてしまうため、大田区教育委員会では工事の前に発掘調査を行い、記録を残し保存しています。このようにして、数百年、あるいは数千年地中に埋もれていた遺跡・遺物が発掘され、私たちの歴史を知るための貴重な文化財として研究・活用されることとなります。

本書は平成9～17年度に行われた久ヶ原遺跡をはじめとする各遺跡の発掘調査報告書です。本書が研究資料として十分活用され、また区民の皆様にも大田区の歴史的文化遺産に対する関心とご理解を寄せていただくことにつながれば幸いです。

規格 A4判 194頁  
販売価格 1500円  
販売場所 郷土博物館  
区役所2階 区政情報コーナー



方形周溝墓



5号住居跡

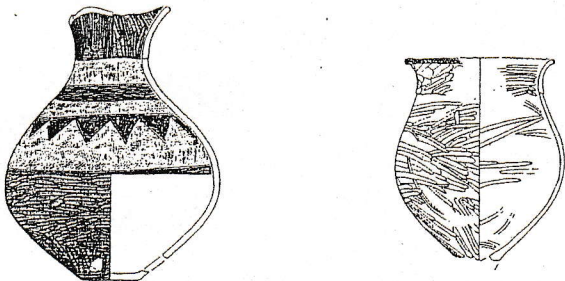
## 埋蔵文化財調査報告

### くがはらいせき 久ヶ原遺跡

平成20年4月、久が原六丁目11番の建設工事に伴い、約110㎡を発掘調査しました。調査地点は弥生時代から古墳時代の大集落として著名な久ヶ原遺跡のなかで方形周溝墓群が確認されている範囲の東側にあたります。

今回の調査では、方形周溝墓（弥生時代につくられた方形の低墳丘の周りを溝で区画した墓）が3基発見され、ガラス玉や石製の管玉、弥生時代後期の壺形土器や甕形土器などの遺物が出土しました。これらの遺物から3基の方形周溝墓は、いずれも弥生時代後期のものと位置づけられます。

なお、今回の調査によって、方形周溝墓群がさらに東側や南側に広がる可能性がでてきたことから、久ヶ原遺跡の墓域の広がりを明らかにする上で重要な成果を得ることができました。



出土した壺形土器(左)と甕形土器(右)

S=1/10

また、昨年度、久ヶ原遺跡の発掘調査は5月に久が原四丁目24番、11月に久が原六丁目25番地点でもそれぞれ行いました。調査の結果、弥生時代後期の竪穴住居跡が1軒ずつ発見されました。

これまでの久ヶ原遺跡の調査に加え、当時の集落の在り方を考える上でさらなる情報と資料を得ることができました。

### さんのういせき 山王遺跡

平成21年3月、山王三丁目31番の建設工事に伴い、約22㎡を発掘調査しました。山王遺跡は、主に弥生時代中期から古墳時代初頭にかかる集落跡の遺跡です。

今回の調査では、溝が2条発見され、弥生土器や土師器などの小片が出土しています。溝は2条ともに時期を特定することが難しい状況です。溝の時期や性格については、今後の周辺の調査によりますが、今回の調査地点北側で検出されている弥生時代の環濠との関連は十分に想定できます。

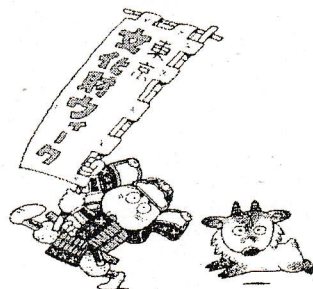
今回の溝の調査は、限られた面積ではありますが、山王遺跡の広がりや内容を考える上で貴重な発見となりました。

### 平成20年度 埋蔵文化財調査件数

発掘届 89件

本調査 4件（久ヶ原遺跡3件、山王遺跡）

試掘調査 9件（女塚貝塚、久ヶ原遺跡3件、田園調布一丁目30番横穴墓、山谷・諏訪分遺跡、雪ヶ谷貝塚、東馬込一丁目2番横穴墓、山王遺跡）



## 文化財調査／石造遺物調査

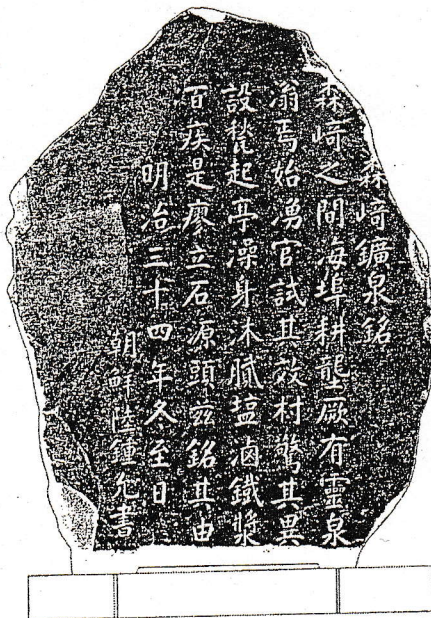
記念碑や供養塔などの区指定文化財について、現状調査を行いました。

この調査成果は、大田区の文化財第 37 集として刊行します。今後の保護保存・活用の基礎資料とするため、未指定の記念碑や狛犬など、区内所在の主な石造遺物についても、所在地等を一覧表にして収録する予定です。

では、調査対象とした区指定文化財の一部をご紹介します。

**森ヶ崎鉱泉源泉碑** 大森南 5-1-2 大森寺

森ヶ崎というと何を想像されるでしょうか。明治 32 年(1899)、この地で鉱泉が発見されています。この石碑は、その鉱泉の効用が認められたことを記念して建てられたものです。



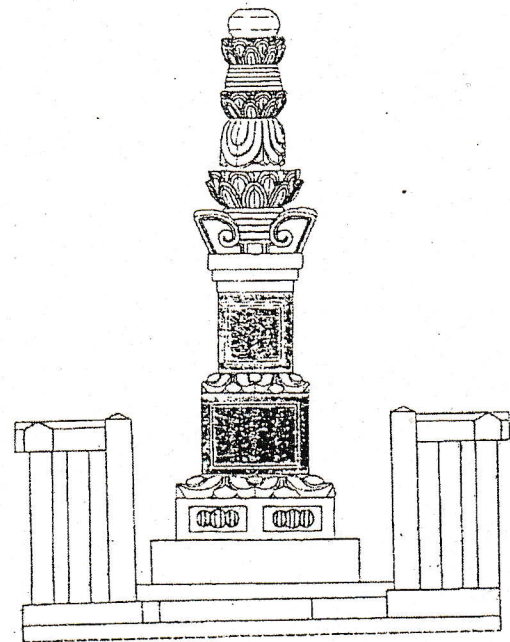
森ヶ崎鉱泉源泉碑・立面図(銘文部拓本挿入)

**加藤清正供養塔** 池上 1-1-1 池上本門寺

加藤清正(1562-1611)は、豊臣秀吉の家臣であり、関ヶ原の戦いでは徳川家康に味方し、肥後国を領有しました。法華信者としても知られています。

この供養塔は、清正の 38 年忌に当たる慶安 2 年(1649)、清正の娘である瑤林院(紀伊徳川家の藩祖、頼宣の正室)が造立したものです。

本門寺山内には、瑤林院の墓がある紀伊徳川家墓所(区指定史跡)などもあります。



加藤清正供養塔・立面図(銘文部拓本挿入)

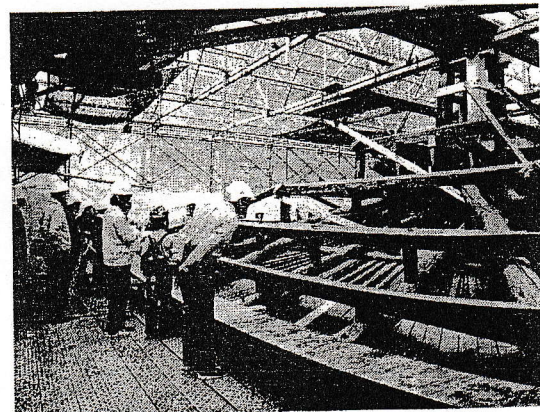
## 文化財保存事業 池上本門寺宝塔の保存修理事業

都指定文化財「池上本門寺宝塔」は、宗祖日蓮の 550 遠忌を記念し、文政 11 年(1826)に上棟され、数年の工事を要して建立されました。

現在、平成 21 年度末までの予定で保存修理事業が行われています。

屋根の葺き替えをはじめ、宝塔外部塗装や棧唐戸の欄間の変更などの工事が進められ、また塔内部に安置される小宝塔(付指定となっている)も保存修理が施されています。

着々と、調査を踏まえた作業が進むにつれ、建立時の姿に復旧整備されつつあります。



保存修理現場見学会の様子(平成 20 年 10 月)

## 東京文化財ウィーク

公開事業 10月31日～11月9日

企画事業 10月1日～11月30日

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市町村との連携により各種文化財事業を行います。

大田区では、次の事業を実施します。

### ◆ 「池上本門寺宝塔」保存修理現場見学

建築技術や文化財の保存修理の現場を見学。

※ 漆作業現場の見学も含まれるので、申込の際はご注意ください。

日時 10月25日(日)

- ①午前10時30分 ②午後1時 ③午後2時  
④午後3時 ※各回約30分

定員 抽選で各回25名

申込方法 往復はがきで10月7日(水)必着  
1人1通、希望時間を明記

申込先 大田区立郷土博物館

### ◆ 文化財写真パネル展

区内の遺跡調査、文化財調査、文化財の紹介などの写真パネルや出土遺物を展示します。

期間 10月31日(土)～11月9日(月)

場所 大田区役所 1階 展示コーナー

### ◆ 文化財入門講座

「欠ヶ原遺跡を学ぼう！」

遺跡から出土した土器などに、触れながら欠ヶ原遺跡について楽しく学びます。

日時 11月7日(土)午後2時～4時

場所 大田区立郷土博物館 会議室

講師 古屋紀之氏

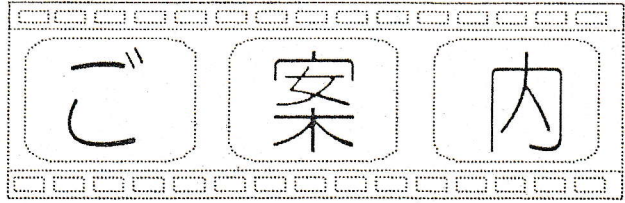
( (財) 横浜市ふるさと歴史財団 )

定員 30名

対象 中学生以上

申込方法 電話にて10月21日より受付  
先着順Tel 03-3777-1281

申込先 大田区立郷土博物館



### ♥ 文化財の公開

#### ①大坊本行寺 (池上2-10)

- ・「法華経板木」都指定有形文化財  
11月3日 午前10時～午後4時
- ・「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡  
11月3日～11日  
午前9時30分～午後4時30分

#### ②池上本門寺 (池上1-1-1)

- ・「五重塔」国重要文化財  
午前9時～日没

#### ③多摩川台公園 (田園調布1-63-1)

- ・「亀甲山古墳」国指定史跡
- ・「宝萊山古墳」都指定史跡
- ・「多摩川台古墳群」都指定史跡

#### ④大森 海苔のふるさと館

- 午前9時～午後5時 第3月曜休館  
祝日は開館
- ・「大森及び周辺地域の海苔生産用具」国重要有形民俗文化財

参加方法 ①は当日現地へ、②～④は期間以外にも見ることができます。

### ♣ 文化財ウィークガイドの配布

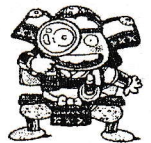
(数に限りがあります。ご了承ください)

配布場所 郷土博物館

大森海苔のふるさと館

大田区役所2階 区政情報コーナー

<input type="checkbox"/>	〇〇〇〇〇〇
往復はがき 記載事項	
<input type="checkbox"/>	催しもの名称
<input type="checkbox"/>	郵便番号
<input type="checkbox"/>	住所
<input type="checkbox"/>	参加者全員の氏名
<input type="checkbox"/>	代表者の電話番号



大田区教育委員会 郷土博物館 文化財担当  
〒143-0025 大田区南馬込5-11-13  
Tel 03-3777-1281 fax 03-3777-1283